

「相談に係るアンケート結果分析・検討に係るワーキンググループ」

【第1回】

日 時	2017年 1月31日（火） 15時～16時30分
場 所	寒川町民センター
出席者	中野（座長）、小川原、牧野、安田
事務局	執行・塩原（寒川町）、宮内・佐藤（すまいる）
検討の概要	
<p>議題1：アンケート結果について（振り返り）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○相談援助を担当する職員以外に多くの相談が寄せられている。 ○相談を受け対応しているが、困難な場合解決に至る支援がない。つながっていない ○ネットワークの再構築が必要ではないか？（つながり作り） ○インフォーマルな相談が寄せられる環境がある。フォーマルサービスとの組合せが重要 <p>議題2：今後の方向性について（ポイントと考えられるもの）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○顔の見える関係づくりの模索 ○新しく開設される相談支援事業所も合わせた相談支援体制の検討が必要 ○障害者の高齢化、支援する家族の高齢化に対応できる仕組みの検討 （地域で受け止めている相談には高齢のご家族から寄せられているものも多い） ○発達障害の児童期を支える支援が重要 	

【第2回】

日 時	2017年 2月24日（金） 15時～16時30分
場 所	寒川町会議室2
出席者	中野（座長）、小川原、牧野、
事務局	執行・塩原（寒川町）、宮内・木下（すまいる）
検討の概要	
<p>議題1：今後の方向性について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○発達障害の児童、軽度の知的障害の児童期の支援が弱く、お子さん自身にもご家族にも届く支援が必要 ○子育てを支援する機関との連携の在り方検討 <p>議題2：今後検討が必要な課題について</p> <p>2回のワーキンググループでの話し合いを通して、必要と思われる課題として最も大きいのは、インフォーマルな相談を多く受けている方がいる反面、つながりが弱く解決や安心感につながっていないのではないかと（相談者・相談を受けている側双方）という結論に至った。このため来年度の活動で取り組むべき課題の案としては</p> <ul style="list-style-type: none"> ○つながり作り・相談支援の体制および連携作りの検討（システム化） ○子育て支援を含めた、相談につながる案内（パンフレットなど）の作成 ○保育園見学やミニ講演会などを通じた相談支援体制の情報提供と周知 	